



【校訓】剛 美 健

学校だより

第6号

令和8年7月17日

【めざす生徒像】

- ・自ら気づき行動できる生徒
- ・自分に自信をもてる生徒
- ・継続して取り組める生徒



島田中ホームページ



ふれあい促進事業（2年生）

6月18日（木）に、2年生を対象に「ふれあい促進事業」が開催されました。本事業は光市障害者福祉基本計画に基づき、中学生の時期から、様々な要因による「障害」についての理解を深め、実際に障害のある方やその家族、または支援者の方々の生の声を聞くことをとおして、地域共生社会の創成をめざして、毎年開かれています。



当日は、市福祉総務部障害福祉係の方から「障害とは何か」について講義を受け、その後、10グループに分かれて様々な障害のある方や支援者の方々と「共生社会」について、思うことや疑問点などをそれぞれの立場から意見交換をしました。生徒たちは、この事業をとおして「障害」についての理解を深め、共生社会のあり方について考えを深めることができました。



命のぬくもりを肌で感じた「赤ちゃんふれあい体験」

前回の事前講座を経て、いよいよ本物の赤ちゃんとお母さん方をお迎えして「赤ちゃんふれあい体験」を行いました。

最初は緊張気味だった生徒たちですが、赤ちゃんを目の前にすると自然と笑顔に。一緒に手遊びをしたり、おそろおそろでも優しく抱っこをさせてもらったりする中で、事前講座の人形では味わえなかった「本物のぬくもりと柔らかさ」を肌で感じていました。また、お母さん方からは、お腹の中にいた頃の愛おしいエコー写真や、これまでの成長記録を見せていただき、子育ての喜びや大変さについて生の声を聞くことができました。生徒からは「抱っこしたときの温かさに感動した」「自分もこうして大切に育てられたんだと気づき、親に改めて感謝した」といった感想が聞かれ、体験を通して命の尊さと子育てへの理解を深める、かけがえのない時間となりました。



小中交流学习

6月30日（火）三島コミュニティーセンターにて、島田小中5校の特別支援学級で、小中交流学习をおこないました。中学生が、折り紙釣り、ペットボトルボウリング、昔遊びのコーナーをつくり、小学生と一緒に楽しみました。小学生のいきいきとした笑顔がたくさん見られたり、中学生の頼もしい姿が見られたりと、皆で有意義な時間を過ごすことができました。



学校保健安全委員会

7月2日(木) ラーニングルームにて学校保健安全委員会を開催し、18名の保護者が参加されました。

生徒会保健委員長・副委員長が委員会の活動について発表した後に、給食・交通・体育・保健の担当教員より今年度の指導について説明を行いました。

講演会では柳井学園高等学校・情報担当の松村康光様より、情報モラル教育に関するお話をしていただきました。「情報モラル教室で知識は与えられるが子どもは意識が足りない。スマホを与えた保護者の責務として、困った時に相談できる関係を築いてほしい」という言葉が心に残りました。

第2回学校運営協議会

7月3日(金) 第2回学校運営協議会が開催されました。今回は、「カリキュラム(探究的な学び)について」をテーマとし、学校運営協議会委員の皆さんと、18名の生徒が熟議を行いました。

協議して出た意見の一部をご紹介します。

- ・小学校の防災学習や中学校の地域探訪を生かして、地域の防災について探究したい。
 - ・各地区の歴史や小学校で学んだことを中学校で共有し、地域の活性化をテーマに探究したい。
 - ・地域の産業について学び、実際に企業を訪問したい。地域の課題を探究する学習がしたい。
- 今後も、学校・家庭・地域のつながりをさらに深め、子どもたちの成長を支えていきます。



校内・校外で「ボランティア活動」が活性化

花の日 6月22日(月) 15名の生徒が参加し、実施しました。今回から運営や司会を生徒がおこない、地域・保護者の方とふれあいました。



周防地区の行事に参加 周防地区の行事「柱松萩の葉落とし」に、三井小学校出身・上島田小学校出身の中学生2名が参加しました。今後は、出身小学校区に限定せず、中学校区の地域行事参加を広く呼びかけていきます。



農具・清掃用具倉庫の棚づくり もので溢れていた倉庫に棚を作り、整理する活動に12名のボランティア生徒が参加してくれました。最初は慣れない手つきでしたが、コツをつかむとインパクトドライバーを使いこなしててきぱきと作業を進め、立派な棚を完成させました。



放課後地域清掃 7月7日(火)、美化委員・地域の方・保護者・生徒ボランティア総勢85名で、学校付近の道路沿いのゴミ拾いを行いました。美化委員長は、「光市は、ゴミが少ないと思ってしまいましたが、実際に清掃をしてみると、ペットボトルなどいろいろな種類のゴミがたくさん落ちていました。次回の美化活動では、拾うゴミの量が減ってほしいと思います。」と感想を述べていました。

